

研究種目：基盤研究（C）

研究期間：2007～2010

課題番号：19530622

研究課題名（和文）子どもの脆弱性と不屈性—相反する心理性を育む地域という土壌の臨床心理学的解析—

研究課題名（英文）Vulnerability and resilience in children—The psychological climate where contradictory mentality develops.

研究代表者

肥後 功一（HIGO KOICHI）

島根大学・教育学部・教授

研究者番号：00183575

研究代表者の専門分野：教育臨床心理学 発達臨床心理学

科研費の分科・細目：心理学・臨床心理学

キーワード：心理的脆さ(脆弱性), 不屈性 (自己回復力), 地域親子関係構造, 地域物語構造, 地域自己構造, 臨床心理学的地域支援

1. 研究計画の概要

本研究は、地域社会における子どもの心理臨床的問題の発生には、地域社会のさまざまな構造に由来する脆弱性が反映されているとの仮説に基づいている。

かつては濃密な人間関係、豊かな自然環境との交流、伝統文化や行事と緊密に結びついた生活様式などが、地域社会の子どもの「不屈性」の形成に寄与していたとすると、おそらくその同じ構造が変質・変容した結果、今や何らかの形で地域社会の子どもの「脆弱性」形成に寄与したとしても不思議ではない。

具体的には A「地域物語の構造」、B「地域親子関係構造」、C「地域自己構造」の 3 つの解析から臨床心理学的地域支援の基盤となるモデルを得ようとするものである。

2. 研究の進捗状況

上述 3 つの解析からこれまで次のようなことが明らかになった。

- (1)「地域物語構造の解析」から
『“地域”には人々の語りを独自の民俗的「文脈」によって縛りコントロールしている物語構造があり、それが目に見えない形地域—学校—家庭を、良くも悪くも繋ぐものとなって機能している』という基本仮説の実証に関連するデータを山陰地域において集積するとともに都市部との対比的検討を進めている。
- (2)「地域親子関係構造の解析」から
親子関係構造を分析する目的で、保護者（特に母親）の「子どもに対する抵抗感」について身体的な抵抗感の内実をとらえる尺度項目を試作し、調査を進めている。
また地域親子関係構造の分析に質的厚みを加えるエピソードの収集を進めた。
- (3)「地域自己構造の解析」から
「脆弱性—不屈性」尺度を試作するためのベ

ースとなる子ども及び親子関係の“気になる様子”について予備調査を実施した。新たに resilience 概念を臨床心理学的に応用することから地域自己構造モデルが形成できる見通しが得られた。
また子どもの「声」のもつ心理臨床的な意味に着目し、保育者や保護者による印象評定法を導入してその分析を行うことから、新たな査定方法を開発中である。

3. 現在までの達成度

- ②おおむね順調に進展している。
当初研究計画に比べ、予定していなかった新たな臨床尺度の開発も行っているが、次の 2 点に課題があるため自己評価②とした。
 - ・研究データの解析が複雑なため地域支援システムのモデル形成に遅れが見られること
 - ・研究成果発表について、著書 1 点と論文 1 点があるものの当初予定していた学会発表を行っていないこと

4. 今後の研究の推進方策

- 3 つの研究領域について、具体的に次のような目標を定めて、最終年度の総括的研究を進めることとする。
 - A. 地域物語構造の解析
これまでに集積された事例の分析から、地域物語構造のモデル化を行い、この地域での心理臨床的支援にとって、どのような点に留意して進めなければならないかを具体的に明らかにすることをめざす。
 - B. 地域親子関係構造の解析
親の側からの子どもとの距離感（特に身体性の接触による抵抗感）を「親の子どもに対する抵抗感尺度（仮称）」として整備し、地域の子育ての心理臨床の実態をモデル化することをめざす。
 - C. 地域自己構造の解析
上述のような地域の親子関係構造が子ど

もの心理的問題（脆弱性）として身体化するに至るモデルを構築することをめざす。この際に「不屈性」の問題への新たな切り口として導入した自己回復力（resilience）概念を心理臨床的に新たに意味づけて援用することが可能である。また子どもの「声」に関する親や保育者の印象評定法を確立し、臨床的妥当性を実証することをめざす。

以上 3 つの具体的研究目標が他制されることによって、地域の心理臨床的支援を行う上での心理臨床的アプローチのポイントが具体的・総括的に整理され、本研究が研究計画調書においてめざした研究目的が概ね最終年度において達成できることとなる。

5. 代表的な研究成果

（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

〔雑誌論文〕（計 1 件）

- ①肥後功一，保育所における親子関係支援に関する基礎的研究（1），島根大学教育学部紀要（人文・社会科学），第 43 巻，67-77，2009，査読無。

〔学会発表〕（計 0 件）

〔図書〕（計 1 件）

- ①岩宮恵子，岩波書店，「フツーの子の思春期ー心理療法の現場からー」，2009，205 頁。

〔産業財産権〕

○出願状況（計 0 件）

名称：

発明者：

権利者：

種類：

番号：

出願年月日：

国内外の別：

○取得状況（計 0 件）

名称：

発明者：

権利者：

種類：

番号：

取得年月日：

国内外の別：

〔その他〕